

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年1月15日

1. 職名・氏名 西 弘嗣

2. 学位 学位 理学博士、専門分野 地質学、授与機関 九州大学、授与年 1987

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 地球生命史学(2単位, 1～3年), 地球環境史学(2単位, M1～2年), 古生物学専攻演習 I(2単位, M1年), 古生物学専攻演習 II(2単位, M2), 古生物学専攻実験 I (2単位, M1), 古生物学専攻実験 II(2単位, M2年)
② 内容・ねらい 生物進化と地球環境の関係を理解し, 恐竜がどのような進化をしてきたか, またどのような環境に生息していたかを理解する.
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ビジュアルに理解できるように講義を工夫し, 古生物だけでなく地質や古海洋などの分野も取り入れて, 環境との関係を総合的に理解できるように工夫している.
(2)その他の教育活動
内容

#### 4. 研究業績

<b>(1)研究業績の公表</b>	
① 著書	<b>【0本】</b>
②学術論文（査読あり）	
(1) Ayumi Maeda, Azumi Kuroyanagi, Akira Iguchi, Birgit Gaye, Tim Rixen, Hiroshi Nishi, Hodaka Kawahata (2022): Seasonal variation of fluxes of planktic foraminiferal tests collected by a time-series sediment trap in the central Bay of Bengal during three different years. Deep-Sea Research I 183(2022) 103718.	<b>【1本】</b>
③その他論文（査読なし）	
西 弘嗣(2022):チバニアン、学術的意義とその社会的重要性(編集および巻頭言).学術の動向 11月号、p. 61.	<b>【1本】</b>
④ 学会発表等	
1)Decrease in shell volume of large benthic foraminifers with progressing ocean warming. S. Kinoshita et al, EGU General Assembl, 2022年5月23- 27日.	
2)Faunal transition of benthic foraminifera at ODP Site 744 (Kerguelen Plateau) and the influence of early Oligocene deep-water circulation in the Southern Ocean. H. Takata et al., 12th International Conference on Climatic and Biotic Events of the Paleogene (CBEP12) 2022年6月9日.	
3)白亜紀の海洋無酸素事変(OAE)が浮遊性有孔虫の進化傾向に及ぼす影響の検証. 黒柳あずみほか, 古生物学会(金沢)2022年年会・総会, 2022年7月1日(金)~7月3日(日).	
4)白亜系海洋無酸素事変層準堆積岩を用いた菌類パリノモルフ分析:菌類フロラ変遷復元. 池田 雅志ほか, 日本地質学会第129学術大会(早稲田), 2022年9月4日.	
5)学術研究における社会貢献のあり方. 西 弘嗣, 日本地質学会第129学術大会, 2022年9月5日.	
6)北海道苫前地域の蝦夷層群羽幌川層における花粉・孢子化石とバイオマーカー分析に基づく後期白亜紀の古植生復元. 早川万穂ほか, 第37回日本植生史学会大会日本花粉学会第63回大会合同大会 2022年9月30日(金)~10月3日(月)	
7)北海道根室層群の白亜紀/古第三紀境界堆積岩のバイオマーカー分析による古環境復元. 林和生ほか, 第39回有機地球化学横須賀シンポジウム, 2022年12月15日(木)	
8)地球史における生物地球化学. 西 弘嗣, 第36回(2022年度)日本放線菌学会, 2022年9月16日	<b>【8件】</b>
⑤その他の公表実績	<b>【0本】</b>
<b>(2)科研費等の競争的資金獲得実績</b>	
(1) 極限温暖化時に生じた森林大崩壊の全容解明(基盤研究B, 代表)	
(2) 東アジア初の完全な K/Pg 境界層から探る白亜紀末・大量絶滅における環境変動(基盤A, 分担)	
<b>(3)特許等取得</b>	
<b>(4)学会活動等</b>	
日本学術会議会員(25期), 日本古生物学会評議員, 日本地質学会理事, 地球惑星連合理事	

5. 地域・社会貢献活動

福井県立恐竜博物館特別顧問 学術会議シンポジウム開催（5月24日） 放送大学シンポジウム講演（10月2日） 第66回中小企業団体福井県大会記念講演（11月7日） 福井生涯学習センター第3回講演（12月3日） 勝山高校探求研究アドバイザー SSH 生徒研究発表会審査委員
--

6. 大学運営への参画

(1)補職
-------

恐竜研究所所長
---------

(2)委員会・チーム活動
--------------

(3)学内行事への参加
-------------

創立30周年記念シンポジウム講演（10月8日）
-------------------------

(4)その他、自発的活動など
----------------